

科目名	地域保健医療特論 (Advanced Study on Health promotion)		科目コード	M102	
選択区分	必修	履修時期	1 前	単位数 (時間)	2 単位 (30時間)
担当教員	野村 美千江・入野 了士		関連DP	看②③⑥	
授業概要	ヘルスプロモーションの標準的テキストであるグリーンとクロイターの著書を全員で読み解き、さまざまな活動領域で汎用性の高い論理的モデルのフレームワークとその根拠を示す研究成果を理解するとともに、エコロジカルアプローチと参加の促進について討論する。				
授業目標	①Precede-Proceed モデルのフレームワークを説明できる。 ②現代に見合った事例を通して各アセスメントのポイントを説明できる。 ③各自の関心ある活動領域や健康課題に引き付けたプレゼンができる。 ④原著や古典的価値のある文献に触れるためにウェブサイトを活用できる。				

授業内容とスケジュール

回	項目	内 容	担当者
1	保健プログラムの企画	一般集団対象の保健プログラム：時代による変化	野村美千江
2		対象集団特有の文化とベスト・プラクティス	
3	Precede-Proceed モデル	健康の社会的決定要因とテーマ型アプローチ	
4		根拠に基づくアプローチの諸段階	
5	社会アセスメント	対象集団の QOL と手段としての健康	
6		参加の原理とプロセス	
7	疫学アセスメント	比較のための標準的疫学指標	入野了士
8		健康問題を量的に表現し優先度を定める方法	
9	行動・環境アセスメント	ある町の事例を通してリスクファクターを理解する	野村美千江
10		エコロジカル・リスクアセスメント	
11	教育/エコロジカル・ア セスメント	行動を起こす準備要因と相互の関連	
12		行動変容、環境変化の決定要因	
13	運営・政策アセスメント と評価	プロセス評価のステップ、影響評価・成果評価	
14		プログラムのインプット/アウトプットの予測	
15	討論	エコロジーと参加型アプローチの必要性	
成績評価方法		課題図書 of 分担プレゼンを評価する (自己評価・ピア・レビュー・教員評価)	
必携あるいは 参考図書・文献		<p>課題図書</p> <ul style="list-style-type: none"> ローレンス W. グリーン, マーシャル W. クロイター 著: 神馬征峰 訳: 実践ヘルスプロモーション PRECEDE-PROCEED モデルによる企画と評価、医学書院、2005. <p>参考文献</p> <ul style="list-style-type: none"> Lawrence W. Green, Marshall W. Kreuter: Health Program Planning: An Educational and Ecological Approach. 4th Edition, McGraw-Hill, New York, 2005. WHO 健康の社会的決定要因に関する委員会最終報告書要旨 pdf 健康の社会的決定要因に関する世界会議 2011 概略報告書 pdf、世界会議の成果 pdf 	
授業時間外の 学習について		<p>課題図書の理解を深めるために、本文欄外の訳者注や著者注、ならびに各章末に示されたエンドノート (注と文献) を熟読し、最大限に活用することを勧める。</p> <p>また、それぞれのトピックに関して重大な転機となった古典的価値のある文献に触れるために、ウェブサイト http://www.lgreen.net の活用を推奨する。多くの文献がハイパーリンクされ、オンラインで文献要約やフルテキストに辿りつくことができる。</p>	
関連科目		特になし	
備 考			